

平成29年度 第2回公社等経営評価委員会 議事要旨

1 日 時 平成29年8月25日（金）10:00～11:40

2 場 所 兵庫県庁2号館2階参与員室

3 出席者

(1) 委 員

佐竹委員長、中尾委員、中西委員、前田委員、吉田委員

(2) 兵庫県

人事課長、資金財産室長、新行政課長

4 議事要旨

(1) （公財）兵庫県まちづくり技術センターヒアリング

公社及び県関係課から、県内市町への水道事業の支援強化について説明後、委員との質疑応答を実施。委員からの主な意見は次のとおり。

※「→」は公社及び県関係課による回答を指す

- 水道事業の支援の内容としては、自治体からの業務の受託などか。また、これによってセンターの業務量が増えると思うが、受入体制に変更はあるのか。
→業務の個別委託のほか、職員の人事交流や研修事業についても対応できると考えている。現在、市町に対して水道事業に関する支援ニーズの調査を実施しており、事業量に見合った人材の確保を検討している。
- 県内市町の水道事業において一番苦慮している点は、技術者の減少か。
→本来は各事業体で人材を確保できればいいが、様々な専門分野の技術者の確保が必要なこともあり、なかなか困難な状況である。オール兵庫として人材をストックする人材バンクのような仕組みの検討ができればと考えている。
- 若手や女性人材を確保する取組みが必要ではないか。
→募集を行っても民間の方に流れてしまうなど、技術者の確保はなかなか難しい状況にある。若者の就職先として魅力をPRしていく必要がある。
- 県の目標として、今後、水道事業についてどのようにしていきたいと考えているのか。また、他府県での取組状況はどうなっているのか。
→今年度末を目標に水道事業のあり方懇話会の報告書を取りまとめさせていただきたいと考えている。現状では、水道事業を今後30年後、50年後も持続可能なものとしていくため、技術者のプールなどに取り組めたらと考えている。

全国の状況について、大規模な水道事業体が小規模な事業体に対して技術支援を行う仕組みは、県内外でも事例が見受けられる。公社として、設計・積算から施工監理まで幅広い支援を検討しているのは、他にはないのではないかと思う。

(2) 「公社等の資金運用に関する報告」について

「公社等の資金運用に関する報告」について事務局から説明後、意見交換。委員からの主な意見は以下のとおり。

- 国際交流協会が保有する外債について、会計基準上は為替リスクがないとは言えないのではないか。
→円へ両替することを前提としていないことから、為替リスクは生じないとしているが、資金管理委員会において議論したい。

(3) 「平成 28 年度公社等経営評価委員会報告書（素案）」について

「平成 28 年度公社等経営評価委員会報告書（素案）」について協議。記載内容について事務局から説明後、意見交換。委員からの主な意見は以下のとおり。

○ 共通の取組み

【資金の適切な運用】

資金管理委員会報告と同様、取組状況に、やむを得ず県の指針に適合しない金融商品を保有している団体が一部にある状況について記載すべき。